

第9回「大学コンソーシアム岡山」運営委員会 議事要旨

- 日 時：平成19年6月18日（月）15時02分～16時30分
- 場 所：岡山大学一般教育棟D棟6階 大会議室
- 出席者：22／34
- 欠席者：岡山大学（梶原），岡山学院大学（平林），岡山商科大学（大崎），川崎医科大学（若狭），吉備国際大学（村本・伊藤），倉敷芸術科学大学（石田），くらしき作陽大学（加藤），ノートルダム清心女子大学（加藤），美作大学（片山），岡山経済同友会（原・運営委員1名空席）
- 陪席者：山陽新聞社（加藤事業局部長）
- 議 事：
木村委員長（岡山理科大学副学長）から開会挨拶後，前回議事要旨（案）の確認が行われ，原案どおり承認された。

○審議事項

1 事業部及び事務局体制について

委員長から，現在素案を調整中のため，まとめ次第提示したい旨説明があり，了承された。

2 短大等の参画について

委員長から，「特別会員」としての短大等に付与する権利義務及び事業への参画方法等について，委員に意見を求めた。

委員から，特に単位互換について以下のような意見があった。

- ・参加する以上は対等であるべきだが，短大生は授業日程がタイトなので単位互換については門戸を広げても参加できるかどうか疑問がある。
- ・単位互換について，例外は作らないほうがよい。
- ・単位互換について，学則の変更等が必要になる大学もある。
- ・本学では学則上も対等な協定参加で問題ない。
- ・既にグループ内の短大を含めた別協定により単位互換を行っている。
- ・限定的な協定参加でも構わないが，それでは「互換」と言えず授業料の問題が発生する。逆に対等な立場での協定参加では規約第4条第2項の「参画」（正会員）と同条第3項の「協力」（特別会員）の違いが説明できなくなる。

議論の結果，委員長が総括し，以下の方針により企画会議で具体的な内容を整理し，本委員会に提示したい旨提案があり，了承された。

【単位互換】

- ・協定参加に対する明確な反対意見はなかった。対等な立場での参加を支持する意見が多かったため，短大等に正会員に近い形で参加してもらいたい，ニーズも含めて短大等の側の意向を聞く必要がある。意向によっては，ある程度限定的な参加形態も考慮しなければならない。
- ・現在の協定はそのままとし，希望する大学・短大等による別の協定を締結することも選択肢の一つとする。

- ・希望する大学側も学則の変更を行う必要があるなど、実施するとしてもある程度の準備期間が必要になる。

【吉備創生カレッジへの参加】

- ・今年度のカレッジにおいて、併設大学から短大籍の教員が講師に推薦されるケースが既にあった。短大等のPRにもなると思われるので、科目提供に協力いただけるのではないかと。ただし、短大等の判断に委ねる。

【産学官連携事業部の実施事業への参加】

- ・短大等の判断に委ねる。

【諸会議への参加】

- ・義務化せずに短大等の判断に委ねる。

3 新規会員の入会について

委員長から、以下のとおり説明があり、了承された。

- ・4月に開学した環太平洋大学から正会員としての入会を希望する連絡があった。
- ・会費等について代表者会議の審議事項となっているため、次回本委員会において関連する資料を提示する。

○報告事項

1 各事業部報告

委員長の指名により、各事業部リーダー等から以下のとおり報告があった。

<大学教育事業部>

- ・平成19年度前期単位互換履修状況については「資料2-1」のとおり。
- ・本年10月頃開催の予定でeラーニングに関する見学会を企画している。詳細は次回本委員会で提示予定。

<社会人教育事業部>

- ・平成19年度前期の吉備創生カレッジ予約状況は「資料2-2」のとおり。結果を踏まえて後期に向けたPR方法を再考し、告知を拡大していきたい。

<産学官連携事業部>

- ・「まなびピア岡山2007」について、「キャリア形成講座」修了生を中心とした「生涯学習見本市」及び「体験テント」への出展を計画しており、現在学生と打ち合わせを重ねている。
- ・6月22日及び26日に開催される説明会に参加した後、具体的な詰めを行いたいと考えている。
- ・「秘書検定2級取得講座」について、内容及びネーミングを変更する予定である。7月末までに確定のうえ説明予定。

○その他

岡山県から、「まなびピア岡山2007」について説明があった。

なお、委員会開始前に関谷学校関係団体から関連イベントのPR、おかやま国際音楽祭事務局からPR及び学生ボランティアの募集呼びかけがあった。

※次回開催予定は7月23日前後（追って正式な日時を通知）

以 上